

人の心をゆさぶる大自然のパノラマビュー&エンジョイスポット

南そらち 四季の彩りをめぐる旅

南幌町・長沼町・由仁町・栗山町

MINAMI SORACHI AREA

南幌町

NANPORO

四季の彩りをめぐる旅

栗山町

KURIYAMA

長沼町

NAGANUMA

由仁町

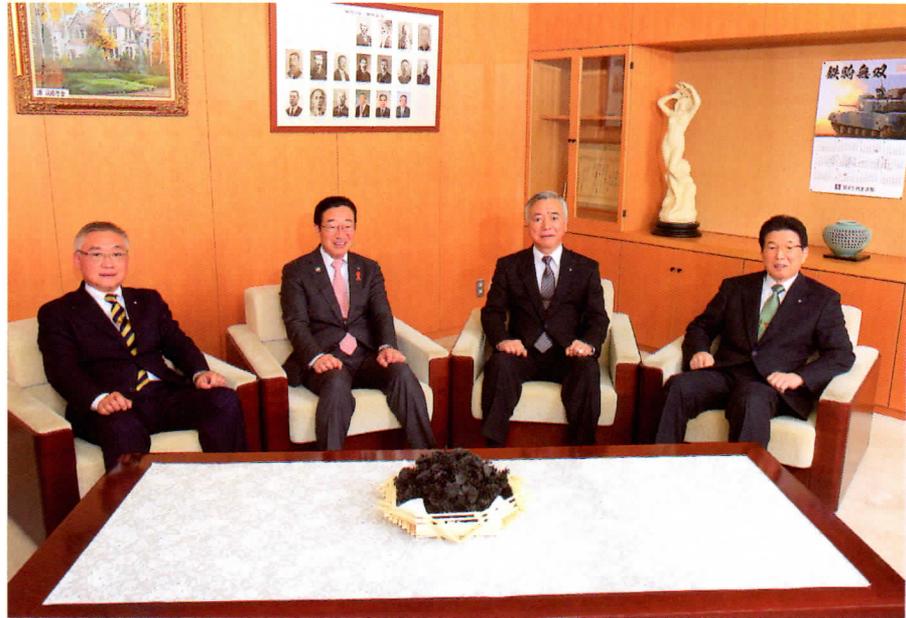
YUNI

新しい発見に満ちた南空知エリア



気候風土や地理的条件では似たような特徴を持ちますが、それぞれの町の個性や魅力について教えてください。

榑原 栗山町はひとことでは言うなら、1次産業・2次産業・3次産業のバランスがよい地域だと思います。現在150種類以上の農作物を栽培していますし、100年以上続く小林酒造や谷田製菓といった老舗もある。平成元年には、「ふるさといきもの里100選」に選定され、国蝶であるオオムラサキの保全活動を行うほか、ハサンベツ里山20年事業として、平成13年24haの離農



南幌・長沼・由仁・栗山の4町からなる南空知エリア。豊かな自然に恵まれる中、農業を基幹産業とし、米や野菜の栽培に取り組んでいます。そんな4町に共通する魅力と言えば、やはり交通の便の良さだと言えるでしょう。札幌をはじめ、新千歳空港や苫小牧港が近いという好立地にありながら、意外と知られていない面も多い南空知4町の魅力について、各町長に話を伺いました。



長沼町長／戸川 雅光

跡地を購入して活用を始めた里山づくりも進めています。また、コカ・コーラ教育環境財団が約2億円をかけて再生した雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスは、子どもの体験



まだまだ知らない魅力がいっぱい



南幌町長／三好 富士夫



学習に利用するほか、約60のプログラムを用意して、子どもから大人までを受け入れる、生涯学習にも力を入れています。

戸川 長沼町も開拓以来、農業を中心に発展してきました。この辺りは1万年前には海だったこともあって低平地が多く、そのため幾多の水害と冷害に見舞われてきました。苦闘を繰り返しながら、今では道内でも有数の米どころとして、緑の広がる田園風景を見るに至っています。道内において、大豆は1位の生産量、白菜は2位、長ねぎが4位など農産物の主要供給基地としてはもちろんのこと、グリーン・ツーリズムの受け入れや直売所も好評で、都市との交流が盛んに行われています。生産者の中には、早くから農家レストランに取り組んでいる方もいますが、その当時は珍しかったものの、今ではすっかり定着していますね。

三好 その隣の南幌町は静かな環境の農村地帯で、他の3町とは異なり、山も高い建物もない全町バリアフリー。とにかく見晴らしがいいのが特徴ですね。北海道といえば乳製品や魚介類のイメージが強いと思

ますが、うちは農産物で勝負しています。生産者たちの意識も高く、顔の見える農業を大切にしており、地元の人たちと交流をしながら、良質な米の栽培・野菜作りに力を注いでいます。特産品であるキャベツは低農薬で育てていて、それらは東京や名古屋、九州にも送っています。甘くて味が詰まっています、質が良いと、各地から高評価をいただいているんですよ。南幌発祥のピュアホワイトも、年々認知度や人気が高まっていますし、スイカもここ2〜3年で収穫量が増えましたね。



松村 長沼町と栗山町に隣接する由仁町は、アイヌ語の「お湯の出るところ」という意味に由来しますが、私の持論は、「仁を以て由と為す」なんです。人の心、思いやる心を持っているというのが由来であり、その言葉通り、とにかく町民一人ひとりの心が豊かだと感じますね。例えば農家さんが、役場に切り花を持って来てくれるんですが、人の集まるところだから、少しでも華やかにという心遣いが嬉しい。小さな町ですが、都会が近いですし、自然や山林があつて温泉や飲食店もあります。ですから私は、人口が多いことがすべてではなく、人の質の良さが、この町のいいところだと思っています。



NANPORO KURIYAMA MUNICIPALITY YUNI



それぞれの町のオススメスポットや特産品、観光への取り組みについて教えて下さい。

戸川 平成17年から、農家に泊まって農業体験をするというグリーンツーリズム事業に力を入れております。石狩平野の美しい田園風景を全国にPRしており、日帰り農業体験30戸を含めて、現在170戸が受け入れを実施しています。関東や関西からの修学旅行生が多く、これまでに4万人以上を受け入れてきました。農業体験を通して生産者の苦労を知り、理解を深めることで、子どもたちは何かしら感じるものがあるようで、それぞれが精神的に成長して帰って行きます。修学旅行生は町をあげて歓迎しており、見掛けたら町の人たちが声掛けを行うなど、積極的にコミュニケーションもとっています。そのおかげか、帰った後でも手紙をくれたり再び遊びに来たりと、交流が続くケースも多いようです。また、「花いっぱい運動」にも取り組んでおり、春から秋にかけて町内が花で彩られているのも自慢です。訪れる人たちに対して、意識しておもてなしをする…。そうした働きが町民の中でも自然と育ってきているようです。

椿原 栗山は、観光面では「くりやま老舗まつり」の知名度が高いですね。毎年楽しみにしているらっしゃるリピーターの方も多いようで、おかげさまで長く続いております。特産品でいうと、ジャガイモの種になる良質の種子馬鈴薯を栽培しています。その90%を鹿児島に、残りを全国各地の食用馬鈴薯生産者に供給し



栗山町長／椿原 紀昭

ています。また、栗山町で誕生した玉ネギ「さらさらレッド」も昨年で10周年を迎えました。今は14、15軒の農家で栽培しており、特産品の1つとして注目を集めています。

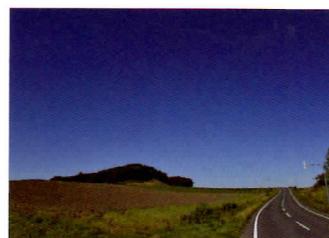
三好 南幌町は何といつても、甘みの強いキャベツとピュアホワイトが自慢ですね。平成10年には、キャベツを使ったキムチを発売し、さらにそれを利用したメニューも町内の飲食店で提供しています。また、南幌産の酒造好適米「彗星」を使って、清酒や本格焼酎を作っていて、お土産にも喜ばれています。

松村 由仁町が積極的に取り組んでいるのは、少しでも多くの方に町の名前を知ってもらうためのPR活動です。そのため現在、YouTubeにおいて、観光施設を案内する動画を配信しています。町民の活き活きした笑顔とともに、町民も知らない町内のディープな情報が載っているの、ぜひ一度見ていただきたいですね。

各地とも、それぞれの町の特性を活かした個性的な取り組みを行っているようですが、今後の展望についてお聞かせください。



由仁町長／松村 諭



樫原 町内で眠ったままになっていく大きな空き店舗を活用して、「まちの駅」を作って情報発信しています。また、海外から訪れる方にも、栗山町の魅力を広めていきたいですね。そのためには、外国語の看板やパンフレットを作ることも考えていかななくてはなりません。この辺りのことは、南空知4町全体で取り組んでいく必要があると思いますので、議論をして、できることから連携していくことが大切だと考えています。

戸川 長沼町では新規就農の方や移住される方を受け入れる姿勢が整っています。そこをもっとPRして、移住人口を増やしていきたいですね。また、千歳市から長沼町、南幌町などを經由して小樽市に至る全長約80kmの道央圏連絡道路の整備が進められており、恐らく10年以内には開通することでしょう。開通すれば、新千歳空港、苫小牧港、石狩湾新港、小樽港など、物流や交流の拠点との連携が図られ、大きく人や物の流れも変わってくると思いますので、いずれは、食品や流通関係の企

業の誘致も進めていけたらと考えています。

松村 うちが、滞在型というよりは、道央の人たちが日帰りドライブなどに訪れる地域です。それを、どうやって楽しく回ってもらえるかを考えています。農家レストランやカフェも増えています。今はまだ点の状態ですので、それをいかに線にするかがポイントです。とはいえ、主役は町民ですから、やりたいということに積極的に取り組めるように、行政は後押しするだけです。我々が前に出るのはなく、黒子の立場でサポートをする姿勢を取り続けたいですね。

三好 私たちの町では、体力も気力もある元気な子どもたちを育てたいというのが願いです。それにはやはり食が大切だと思います。豊かな自然環境の中で、あたたかい人たちに囲まれて、いいものを食べて元気に育ってほしいですね。南幌町は進学や通勤でも札幌に通いやすく、必要な都会はすぐ近くにあるのだから、ある意味贅沢な環境だと言えるかもしれません。冬もほかの地域と比べると雪が少ないので暮らしやすいですし、地域の人びとがみんなで子育てをしようという意識が高いので、少しずつ札幌圏からの移住者も増えています。北海道開発局では、千歳川河川整備計画に基づき、千歳川流域4市2町において遊水地群を整備する計画があります。南幌町も晩翠地区に約150haの遊水地が整備されることになっており、ますので、いづれ完成して散策路が出来るなど、そこでまた人の流れが変わるなど、町の発展の起爆剤になるのではないかと思います。



自然の中で四季を感じる 札幌に近い快適な生活都市

NANPORA 南幌町

江別市・北広島市・岩見沢市・長沼町の3市1町に隣接した南幌町。注目したいのが、都市近郊型農業の発展を目指して生産されている、安心・安全な農作物の数々。遠くまで広がる田園地帯と、地理的利便性の高さから、近年移住者も増えている注目のエリアだと言えるだろう。



地元アイドル「Speciality girls」の、るるかちゃん(右)と、すず菜ちゃんが紹介します。



イベントでも人気の甘辛ザンギ
地元で人気の御食事処



「アニキのザンタレ」790円(税込)。
テイクアウトもOK。スタッフ・秋山昌子さん



旬鮮漁港直送ことぶきや

数あるメニューの中から、訪れた人が必ずオーダーするのが、ザンギに南幌産野菜を使った甘辛タレをかけた「アニキのザンタレ」。ほかに、厚岸直送の新鮮な牡蠣も人気を集めている。1階には物販あり。時化や催事で休業の場合あり。

■日時/2月上旬
■会場/ふるさと物産館「ビューロー」周辺
■問合せ/☎011-378-2121
(なんぼろ冬まつり実行委員会事務局)

ふるさと物産館「ビューロー」



交通や観光情報の発信基地

町の交通拠点「南幌ビューロー」では、軽食コーナーで提供する、ピリ辛スープとシャキシャキ食感のキムチが特徴の「キャベツキムチラーメン」を味わえる。特販所では南幌の特産品も購入できる。また、5階展望台からは町内が一望でき、天気の良い日は恵庭岳から手稲山までの美しい稜線が望める。
■日時/2月上旬
■会場/ふるさと物産館「ビューロー」周辺
■問合せ/☎011-378-2121
(なんぼろ冬まつり実行委員会事務局)



「キャベツキムチラーメン」470円(税込)。「程よくピリ辛で、安くても美味しいですね」。



商工会ふれあいまつり

家族みんなで過ごす、楽しい夏の1日。子どもからお年寄りまで、気軽に参加してほしいと、商工会が実施している夏のイベント。地元特産品の販売や、姉妹町である熊本県多良木町の物産展のほか、ダンスショーやバンド演奏、大抽選会もあり。夜には、美しい花火が祭りの最後を彩る。

■日時/7月下旬
■会場/南幌町美園3丁目1番(南幌町中央公園)
※変更になる場合あり
■問合せ/☎011-378-2728(南幌町商工会)

なんぼろ冬まつり

南幌町の特産品に触れ、楽しく盛り上がる! スノーモービル試乗会や雪合戦、大型滑り台、ステージイベントと、4つの会場で行われる冬まつり。観光協会マスコット「キャベツくん」も登場し、会場を盛り上げてくれる。夕方からはふるさと物産館「ビューロー」前で、アイスキャンドル・スノーキャンドルの点灯式も。

■日時/2月上旬
■会場/ふるさと物産館「ビューロー」周辺
■問合せ/☎011-378-2121
(なんぼろ冬まつり実行委員会事務局)

ほかにも南幌町には、レジャー施設にもファンが多い。

のどかな田園地帯が続く南幌町。西を千歳川、南東を旧夕張川、北を夕張川が流れており、札幌市に近いことから、ベッドタウンとして発展した。空気が良く、山の稜線を彩る夕陽をはじめ、夏は一面の星空、秋は虫の声、冬は樹氷と、四季の風景や匂いを感じさせてくれる。

道内有数の米産地であり、南幌発祥とされる甘くて白いうもろこし「ピュアホワイト」をはじめ、キャベツや長ネギなど多彩な野菜栽培にも取り組んでいる。ピュアホワイトは、スープやコロッケなどにも加工されており、お土産にもぴったり。また、年間25万人が利用する温泉施設「なんぼろ温泉ハート&ハート」で提供されるご当地グルメ「キャベツ天井」は、サクサク甘いキャベツの美味しさが詰まっていると、町内外にもファンが多い。

懐かしい田園風景の中で育った甘いキャベツにとうもろこし

南幌町農業協同組合

南幌町の米で作る焼酎&日本酒

南幌産の酒造好適米「彗星」を使った新たなブランドとして立ち上げたのが、昔ながらの技法にこだわって作る清酒と、姉妹町である熊本県多良木町で醸造された焼酎。どちらも豊かな香り、雑味の少ないスッキリとした味わいで、料理の味を引き立てる。

☎南幌町栄町1丁目4-7 ☎011-378-2221



焼酎「南幌彗星」
1,080円(右)
清酒「南幌彗星」
1,130円。
いずれも720ml

白くて甘くてどうもろこし



甘くて真っ白な「ピュアホワイト」。

ピュアホワイト

幻の白いどうもろこしとしてすっかり有名になったピュアホワイトの発祥がココ南幌町。糖度はメロン以上の19~20%。甘いだけでなく、皮も薄くてやわらか。粒の皮が一斉にプチプチとはじけ、中からジュシーな甘みが口いっぱいに広がる。これが、生のどうもろこしの味!?と驚くこと間違いなし。

問合せ/☎011-378-1289(明るい農村ネットワーク/城地)

南幌キャベツキムチ



キャベツとキムチがコラボ

南幌町特産のキャベツを使った無添加の独自のキムチの素を開発、健康面への配慮にもこだわりをもって製造している。韓国伝統の製法で2種類の唐辛子とニンニク・しょうが・オキアミ・

リンゴ・長ネギなどで漬けている。濃厚な味わいと独特の歯ごたえを楽しんで。

問合せ/☎011-378-2352(南幌町農産物加工センター)

リバーサイド公園・ゴルフ場

南幌町の一大アウトドアフィールド

夕張川の河川敷を利用して、レーシングカートやパークゴルフ場、テニスコート、サッカー場、キャンプ場などを設けた多目的のレクリエーションパーク。ゴルフ場はビギナーからレディス、シニア誰でも気軽に回れるフラットなコースが人気。

☎南幌町南12線西3番地 ☎011-378-3606(リバーサイド公園)

☎南幌町南15線西1番地 ☎011-378-0088(ゴルフ場管理棟)



南幌ライディングパーク

馬に触れて癒されるひととき

南幌温泉近くにある、会員制の乗馬クラブ。夏は屋外にある広々とした馬場で、冬は全天候型屋内馬場で、のびのびと乗馬を楽しむことができる。会員以外もインストラクターのサポートのもとで、引き馬や乗馬体験など気軽に楽しめるのが特徴。年齢制限もないので、道外から家族で訪れる初心者も多く、ハマって会員になるケースもあるのだそう。馬の背中中で美しい景色を眺めたり、夏の心地良い風を感じながら、乗馬体験を楽しんでみて。

☎南幌町南8線西14番地 ☎011-378-5800

☎10:00~18:00、火曜定休 ☎要予約



「馬に触れるのは初めて! 毛並みもキレイでかわいい」。



CITY INFORMATION

有形文化財 旧幌向駅逦所



昭和3年3月に国費の交付を受けて運河の船着場に開所された木造平屋建ての宿場施設。国道337号に対して東面する入母屋造、鉄板葺きで、建築面積は100㎡。官庁の役人や商人など年間約550人に利用され、交通が不便な地帯の文化発展に大きく貢献した。昭和6年11月に廃止されたが、長年、当時のままの姿で残されており、平成18年9月に登録有形文化財に指定された。室内は、10量の客室2室の間にある廊下が付属棟の浴室に通じているが、現在は切妻屋根が印象的な外観の見学のみになっている。

☎南幌町元町3丁目3番19号

☎011-378-6620(南幌町教育委員会)

設が充実しており、夕張川の河川敷を活用したゴルフ場や野球場、カートコース場などもある。また、隣接した公園内にはキャンプができるスペースもあり、夏場は利用客で賑わっている。



ボリューム満点の「キャベツ天井」780円(税込)。「大好きで、温泉に入った後によく2人で食べます!」。

なんぼろ温泉ハート&ハート

毎日訪れたい、町民が憩う南幌の顔

温泉、食事、お土産が揃った町のアンテナショップ。温泉内にはラドン泉や露天風呂、サウナもあり、源泉かけ流しの塩化物強塩泉は別名「熱の湯」と言われ、体の芯からポカポカに。湯上がり後は休憩室でつろいだりレストランでお腹を満たして。オススメはキャベツの天婦羅を大胆に盛り付けた「キャベツ天井」。もともと賄いだったものを提供したところ、口コミで人気を広まり、今ではすっかり名物の1つとして町民に愛されている。

☎南幌町南9線西15番地 ☎011-378-1126

☎月~金曜11:30~☎20:30(土・日曜・祝日11:00~)

☎日帰入浴/中学生以上650円 小学生300円 幼児無料 宿泊/1泊2食付9,500円~



三重湖公園

ピクニックやキャンプを楽しむ憩いの場

南幌町市街地から車で5分に位置する三重湖。ほりにはキャンプ場もあり、テントサイトのほか、日帰り・宿泊ともに対応できるバンガローも完備。ピクニックや釣りを楽しむこともできる。また、水遊び場には噴水もあるので、ちびっこ連れにも喜ばれている。

☎南幌町南13線西3番地 ☎011-378-1270(管理棟)

美しい田園風景の中で
食と暮らしと遊びを楽しむ

NAGANUM 長沼町

町の約70%が田畑や牧場で占められており、広々としたのどかな田園風景が広がる長沼町。道内有数の米どころとして知られ、ほかにも多くの農作物が栽培されている。それらを活用した加工品も充実しており、お土産としても人気を集めている。



大迫力の「赤字井」1,350円(税込)。
常務取締役・岩城竜一さん



●マオイ夢祭り

大人も子どもも大爆笑の
イベントが盛りだくさん

毎年約1万人が参加する、夏の大イベント。目玉は、水上のコースを、野菜の入った一輪車を押して進む白熱の「やませ」。送風機から送られる強風や散水機の水に耐え、どこまで進めるかを競う。ほかに、長沼百年太鼓や餅まきなど、盛り上がるイベントがいっぱい!

- 日時/8月下旬10:00~16:00
- 会場/長沼町南町2丁目3番地(長沼町総合公園)
- 問合せ/☎0123-88-2111(長沼町産業振興課)



●タやけ市

春から秋まで月1回、商店街が縁日に!!

長沼町本通商店街で、5月から9月までの第4土曜日に開催される「タやけ市」。各店が本業以外の商品をお客さんが特徴で、隠れた人気メニューもあることから、お祭り気分が楽しめるという評判。さまざまなアトラクションがあるので、子ども大人も盛り上がるはず。

- 日時/5月~9月の第4土曜日17:30~20:00
- 会場/長沼町本通商店街
- 問合せ/☎0123-88-2221(長沼町商工会)

●いわき

見た目も美味しさもインパクト大!

名物は、井からはみ出るほど巨大な海老の天婦羅が5本のった「赤字井」。大胆な盛り付けだが、サクサクの天婦羅と秘伝の甘辛タレ、ご飯とのバランスが絶妙で、気が付くとあっという間に完食しているはず。ほかに「黒字井」「白字井」もあるので試してみてください。

☎長沼町中央南1丁目6番30号 ☎0123-88-0122
☎11:00~☎15:00、火・土・日曜定休



ほかに、身近な存在となっている。長沼町内でも多くの店舗で提供されており、身近な存在となっている。ほかに、長沼町の特徴として挙げられるのが、野菜の栽培、販売である。スタンダードな農作物をはじめ、珍しい野菜の栽培にも取り組んでおり、札幌市内の飲食店にも積極的に卸している。さらに、自家製米を使った個性的な酒である「どぶろく」や、地元食材を使ったスイーツも多く、食の豊かさを感じさせてくれる町だと言えるだろう。

肉をどのように活用するかと頭を悩ます中で考案したのが、ジンギスカンだった。年月を経る中で少しずつ長沼のジンギスカンが道内にも広まり、今ではすっかりブランドの一つとして道民に親しまれている。長沼町内でも多くの店舗で提供されており、身近な存在となっている。

その誕生は今から50年以上も前になる。羊毛生産が盛んだった当時、肉をどのように活用するかと頭を悩ます中で考案したのが、ジンギスカンだった。年月を経る中で少しずつ長沼のジンギスカンが道内にも広まり、今ではすっかりブランドの一つとして道民に親しまれている。長沼町内でも多くの店舗で提供されており、身近な存在となっている。

新旧多彩な食に恵まれた
遊びに行きたくなる町



道の駅マオイの丘公園

自然の中でスポーツや買い物が楽しめるサイロのようなレンガ造りの建物が目を引く道の駅。夏は、隣接するパークゴルフ場で手軽に運動が楽しめる人気。園内には、地元農家が営む直売所や、地場産野菜を用いた料理が味わえるレストランもあり。また、長沼町産の牛乳100%で作る「ソフトクリーム」やオリジナルの「豚まん」など、テイクアウトメニューもあるので、ドライブがてら立ち寄るのもいい。展望台からは石狩平野が一望できるので、天気の良い日に足を運んでみて。
 国長沼町東10線南7番地 ☎0123-84-2120
 園9:00～(季節により異なる)



ハイジ牧場

緑の牧場で動物と一緒に楽しく過ごそう！あるがままの自然を活かして人と動物が触れ合える場所。100haの土地には、アニマル・キャンプ・冒険ゾーンなどがあり、乳搾りや餌やり、バター作りといった多彩な体験ができるのが特徴。教育牧場として、道内外の修学旅行生も訪れ、動物との楽しい時間を過ごしている。
 国長沼町東9線南2番地 ☎0123-88-0011
 園4月中旬～11月上旬の10:00～18:00 園無休



馬追温泉

喧噪を忘れて静かにくつろげる秘湯
 丘の麓に佇む、明治中期創業の秘湯。日常を忘れて静かなひとときを過ごせると、夫婦や少人数グループでの利用が多い。無色透明のお湯は、慢性関節リウマチなどに効果があり、温泉好きに親しまれている。春は桜の樹が周囲を彩るので、散歩を楽しむのもいい。
 国長沼町フシコ番外地 ☎0123-88-3737
 園10:00～21:00 園無休
 園日帰入浴／中学生以上500円 小学生250円 幼児無料、宿泊／1泊2食付 6,588円～

農産物直売所

農家直送の新鮮野菜がリーズナブル！
 道の駅マオイの丘公園の目玉の1つが、こちらの直売所。5月上旬～11月まで8店舗が軒を連ね、採れ立て新鮮な野菜や果物、米、乳製品、加工品などを販売。珍しい野菜も手に入ると、長沼町民はもちろん近郊から訪れる人々で賑わっている。
 国長沼町東10線南7番地 ☎0123-84-2120
 園9:00頃～16:00頃(店舗によって異なる)



「かりんとう饅頭」1本120円、5本入り500円(ともに税込)。代表取締役・森下伸さん



ながめ温泉

源泉かけ流し温泉とジンギスカンを堪能
 源泉かけ流しで湧出量が毎分1,150ℓと道内でもトップクラスの「ながめ温泉」。ナトリウム-塩化物強塩泉で、体を芯からじっくりと温めてくれる。食事処が充実しており、館内のレストランのほかに、別棟のジンギスカンコーナーでは、町内にある長沼成吉思汗、佐藤精肉店、かねひろの肉が一度に味わえる「3種食べくらべセット」を用意。味付けの仕方が異なるので、好みが見つけれられるはず。
 国長沼町東6線北4番地 ☎0123-88-2408
 園日帰入浴9:00～22:00(最終受付21:30)
 ジンギスカンコーナー11:00～20:30 園20:00 園無休
 園日帰入浴／中学生以上600円 小学生300円 幼児無料、宿泊／1泊2食付 6,880円～

菓子司 高橋菓子舗

変わらぬ製法で愛され続ける銘菓
 昭和10年創業の老舗菓子店。創業当時から販売している「茶ぼくさ」は、お茶の糞紗をイメージした和菓子で、小麦と砂糖、卵で作るふわふわの皮で、丁寧に炊いた粒あんを包み込んでいる。飽きない美味しさで、1日200個は売れるロングセラー商品になっている。
 国長沼町銀座北1丁目2番18号 ☎0123-88-2362
 園8:30～18:30(日曜～12:00) 園無休



上品な甘さの「茶ぼくさ」95円(税込)。代表取締役の高橋光雄さん・永子さん

菓子匠 森下松風庵

四季の美味しいお菓子をまごころこめて
 昭和25年創業の菓子店。店内には、四季折々の和菓子や洋菓子が並んでいる。訪れたお客さんにくつろいでもらいたい、お茶とお茶菓子でもてなしてくれるのも嬉しい。2代目の店主が開発し、5年前から販売している「かりんとう饅頭」は、今や同店の看板商品に。沖縄産黒糖を使った生地で長沼産小豆餡を包んで香ばしく揚げた饅頭は、サクとした生地としっかりとした餡の組み合わせが絶妙で、上品な甘さが口の中に広がる。
 国長沼町本町北1丁目1番6号 ☎0123-88-0051
 園9:00～19:00(日曜～17:00) 園元旦



CITY INFORMATION

どぶろく特区長沼

ハマる人続出!の手づくり「どぶろく」
 米と米麴と水で醸される「どぶろく」も、長沼町の特産品の一つ。2005年に国の構造改革特区で「どぶろく特区」に認定されたことで、町内5戸の米農家が自家製米で製造販売している。どぶろくとひと聞いても、原材料をはじめ、火入れをしたもの・生タイプと、作り手によって仕上がりは異なる。長沼町では、「松ちゃんのどぶろく」「どぶろく耕心」「どぶろく一魂」「どぶろく輝陵」「雪のまい姫」が、製品として販売されている。それぞれが個性的な味わいなので、飲み比べをするのもいいかも。 ■ 販売所/道の駅、ながめ温泉など





気軽に足を運べるドライブエリア 立ち寄りたくなるオシャレな店も!

YUNNI 由仁町

「都会に近いちょうどいい田舎」として、近年注目を集めている由仁町。道内においては積雪も少なく、年中過ごしやすいエリアと言えるだろう。美しい庭園や温泉、観光農園にカフェなど見どころ満載なので、休日にはドライブがてらふらりと立ち寄って。

● ユンニの湯



コーヒー色の美肌の湯が気持ちいい

内風呂、露天風呂ともに、コーヒー色でぬめりのあるお湯が特徴。ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物泉のつるつるとした肌触りが評判で、日帰りはもちろん、露天風呂付客室での宿泊も人気を集めている。週替わりのハーブ湯も、爽やかな香りで贅沢な気分になれると女性に評判だ。また、団体日帰りプランも充実しており、「ゆにガーデン」とのセットプランや、隣接する「薫りの里パークゴルフ場」ゆにっPAIでのパークゴルフ、バーベキューや果物狩りが一緒に楽しめるプランもあるので、お得に利用したい。

〒由仁町伏見122番地 ☎0123-83-3800

営業日 帰入浴／朝風呂5:30～8:00、10:00～22:00

休年1～2回休館日有

料金 帰入浴／中学生以上600円、小学生300円(土・日・祝はプラス50円)、幼児無料、宿泊／1泊2食付8,500円～

● ゆにガーデン



美しい庭園で季節の花々を愛でる

日本最大級の英国式ガーデンとして親しまれている「ゆにガーデン」。春の桜や菜の花、カモミールに始まり、6月下旬～8月にかけては白・紫・ピンク合わせて102万本のリナリアが咲き誇る。また、7月下旬からはユリと紫陽花、9月からは50万本のコスモスが開花するなど、季節ごとに美しい庭園風景が楽しめる。カフェやレストランも人気で、季節の新鮮な野菜を使ったヘルシーなバイキングを目当てに訪れる人も多い。園内では、花やハーブの苗、由仁の特産品の販売もしているので、お土産にも喜ばれるはず。

〒由仁町伏見134番地2 ☎0123-82-2001

営業日 4月下旬～10月中旬10:00～17:00

(6月～8月は～18:00、土・日曜、祝日は9:00～)



● 三川地蔵祭り



バラエティ豊かな仮装で勝負!

由仁町・三川地区で行われる夏祭り。午後から始まり、夕方にはドラム缶を利用してジギスカンを豪快に焼く。メインは18時頃からの子ども仮装盆踊りと20時からの大人仮装盆踊り。どちらも力の入った仮装を競い、札幌近郊では一番遅い日程のため町外からも多数の参加があり、優勝者には豪華賞品が贈られる。

日時／8月24日(水)

会場／由仁町三川駅前広場

問合せ／☎0123-83-2136(由仁町商工会)



● 2016由仁町夏まつり



子どもも大人も待ち望む夏イベント!

メインイベントは、一般道を開放して行う由仁町名物の「百足競走」。ちびっこ百足や大人百足がタイムを競ったり、レースの途中で引いたカードに従って障害物を越えるなど、ユニークな企画に見物客も大爆笑。ほかにフリーマーケットや消防はしご車搭乗体験なども開催。

日時／7月31日(日)

会場／由仁町東栄87番地1 由仁町げんき館前

問合せ／☎0123-76-7766(由仁町観光協会)



目を集めている。

親しまれている。近ごろはオシャレなカフェも新たにオープンするなど、札幌から近く手軽に足を運べるリゾート地やドライブエリアとしても注目を集めている。

由仁町の地名の由来は、アイヌ語の「ユンニ(温泉のある所)」とされており、夕張連峰と馬追丘陵に抱かれ、南北に32kmと長く続く地形が特徴。東部は平坦な低地、南東部は夕張山地に続く森林地帯、栗山町との境には夕張川が流れており、のどかな田園風景が広がっている。

豊かな自然が作り出す
由仁ならではの食と癒し



●牛小屋のアイス



新鮮アイスにトッピングをまぜまぜ
 牧場直営のアイス店。毎朝作る出来立てアイスに86種類のトッピングから選んで混ぜる「まぜまぜアイス」は、会話を通じて好みを聞き出し、目の前で作ってくれる。日替わりアイスは約100種類あり、常時5〜10種類が並ぶので、こちらもオススメ。
 国由仁町中三川1219番地 細田牧場内 ☎0123-86-2848
 国4〜9月10:00〜18:00(10・11月〜17:00)
 ※まぜまぜアイスは15:00終了) 国水・木曜



●由仁いちろう会



香り高い原木椎茸の美味を実感
 原木栽培農家の「長嶋農園」では、町内の4軒で生産グループ「由仁いちろう会」を構成し、栽培・出荷を行っている。ハウス内にはずらりと椽木が並び、1本に20から80カ所の穴を開けて植菌。成長が早いことから、出荷に最適なサイズで採取するには、朝昼晩のママなチェックが欠かせない。育った椎茸は、香り高く肉厚でジューシー、歯応えのある逸品だ。道内百貨店やスーパーで販売されるほか、作業場の一角には直売コーナーもあり。サイズの小さなものは乾燥や粉末にしたり、干し野菜と共に混ぜご飯の素「野菜めし」となる。
 国由仁町岩内3231番地
 ☎090-4874-2382 国0123-83-3133



生椎茸、乾椎茸、野菜めし他。



インパクト大の「逆バーガー」500円(税込)。
 女将・山本美恵子さん

●まるやま食堂



驚きの発想から生まれた新名物
 ビーフハンバーグでパンズと地元産玉ネギ、リンゴをサンドし、ライスペーパーで包んだ個性的な「逆バーガー」。味の決め手は地元商業高校と一緒に開発した「愛郷ドレッシング」で、その発想のユニークさから、密かな名物として観光客の人気を集めている。
 国由仁町本町153番地 ☎0123-83-2511
 国11:00〜国19:00 国不定休

●ゆにコーン



糖度20度はあたりまえ!
 昨年あまりの人気に品薄となり幻のトウモロコシと評判になったトウモロコシ。粒も大きく全長も最大25cmというビッグサイズが期待できる。ジューシーで糖度20度以上の甘さが特徴で、新たな特産品として注目を集めている。1本250円(税込)。
 国(有)豊作会農園 ☎090-3119-3241(森田)



●食用ほおずき



北海道でも珍しい食用ほおずきを栽培
 平成7年に栽培をスタートした食用ほおずき。観賞用と比べて小さく、その大きさは3cm程度。観賞用と比べると薄く繊細な袋で、オレンジ色の実が包まれている。程よい酸味と甘みがあり、そのまま食べても加熱しても美味。由仁町近郊や札幌の洋菓子店などに出荷されている。
 国雨野農園
 ☎0123-87-3417



ホルモン330円、レバー330円、サガリ420円、心舌420円(いずれも税込)。
 スタッフ・伊藤育美さん

●東京ホルモン



町民が食べ親しんだソウルフード
 初代店主が考案したホルモン焼きを2代目店主が確立し、60年以上愛され続けている町のソウルフード。一時は閉店の危機を迎えたが、3代目が弟子入りをして味を継承。手作業で下処理・製造したホルモンを専用の鉄板で焼き、秘伝の味噌たれで仕上げる。
 国由仁町本町299番地 ☎0123-83-2652
 国11:00〜21:00(日曜・祝日〜20:00)、国はともにも30分前 国不定休



「ぎゅぎゅっと! バターじゃが」他。
 代表取締役・喜井一憲さん

●喜井ファーム



大地の美味しさをそのままパック!
 地場産で栽培したジャガイモ「キタアカリ」や朝採りの白いとうもろこしは収穫直後に素早くレトルト加工、かぼちゃ「栗將軍」は熟してから加工する。企業秘密の“ひと手間”を加えることで美味しさを格段にアップさせている。トウモロコシはシャキシャキ感をそのままに、ジャガイモは少し温めることでバターが絡み、ホクホク感とコクが楽しめる。顔を描いたパッケージも印象的で、新千歳空港や札幌市内「きたキッチン」などで販売。常温保存でき、いつでも手軽に食べられるので、お土産としても喜ばれている
 国由仁町西三川63番地
 ☎0123-87-3585

CITY INFORMATION

由仁のものがe-Shop

由仁町の特産品を手軽にお取り寄せ

農作物で由仁町の特産品を作り、町の認知度アップを図ろうと、平成21年に制定された「やっぱり由仁のものがいい条例」。それに伴い町では、地元の野菜や果物など、安心・安全な農作物を使った6次産業化への取り組みと、その商品のブランド化を推進している。さらに、それらの特産品を広く知ってもらうためのインターネットショップ「由仁のものがe-Shop」を開設。町民有志が集めた、季節ごとの由仁の情報に触れるとともに、手軽に由仁町の美味しさが楽しめる、道内をはじめ全国で、少しずつ利用者が増えている。

国http://yuninomono-eshop.com/





「ニシンの酢漬けと和寒キャベツと長ひじきの輪」。店主である酒井弘志さん

● 味道広路

心尽くしの料理と空間を堪能

15年目を迎える名店。日本料理の職人が作るおまかせコースは、地元の季節野菜や米を利用し、ゲストに合わせた献立で楽しませてくれる。料理はもちろん、店主自らが設計した店や施設、雰囲気に至るまで、随所に心遣いを感じられ、堅苦しくなく美味に酔いしれることができる。

〒栗山町字湯地40番35号 ☎0123-73-6677

営業時間 12:00～14:30、17:30～21:00

休火曜・第2水曜定休 団体2名より前日まで要予約

団体10% 回数不可 ※料金は税別

● 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

様々な自然体験プログラムで感動を発見

平成10年に閉校になった木造2階建て校舎「雨煙別小学校」。平成21年にコカ・コーラ教育・環境財団の支援により改修され、80名収容の宿泊施設として生まれ変わった。ここでは、里山体験や川体験など約60のプログラムが用意されており、

NPO法人のスタッフやボランティアのサポートによって、子どもから大人まで幅広く体験できる。また、小中学生の宿泊学習が行われるなど、環境教育の場としても利用されている。

〒栗山町字雨煙別1番4号 ☎0123-72-1696

営業時間 4月1日～11月30日9:00～18:00、12月1日～3月31日

9:00～17:00 休火曜休館

● ハサンベツ里山地区

懐かしい田園風景を少しずつ復元

平成13年に離農跡地24haを活用して始めた「ハサンベツ里山20年計画」。トンボやハイケボタルなど、かつての生態系を取り戻すため、毎年5～11月の第2日曜日を「ハサンベツの日」とし、町内外から集まった有志が小川や田畑の復元に力を注いでいる。

〒栗山町桜丘3丁目

利用期間 5月上旬～11月下旬

〒栗山町教育委員会

☎0123-72-1117



自然と歴史とスポーツに彩られた さまざまな表情を見せる豊かな町

栗山町といえば、北海道最古の蔵元である「小林酒造」ときびだんごの「谷田製菓」の二つの老舗が織りなす「くりやま老舗まつり」を思い出す人も多いだろう。近年はそれに加え、北海道日本ハムファイターズの栗山監督ゆかりの地としても認知度を高めている。

栗山町



● くりやま夏まつり

短い夏を盛り上げる恒例の祭り

今年で41回目を迎える、栗山町を代表する夏のイベント。郷土芸能パレードや活みこしが会場を練り歩けば、全道から20団体以上の和太鼓チームが集結し、迫力ある合奏を披露する。太鼓の余韻に重なるように祭りの最後を彩る、華麗な打ち上げ花火も楽しみにしたい。

日時 / 7月の第4または第3金曜・土曜

会場 / 栗山町中央2・3丁目

問合せ / 実行委員会 ☎0123-72-1278



● 栗山天満宮例大祭

300以上の露店が並ぶ秋祭り

9月24日～26日に開催される秋祭り。かつて各地の祭礼を回った露天商たちが最後にこの地に集ったという名残から、今でも300以上の露店が並び、毎年賑わいを見せている。中でも見どころは、25日に行われる獅子舞や御神輿渡御で、神輿は威勢のいい掛け声とともに町内を練り歩き、祭りに華を添える。「くりやま味覚まつり」も同時開催されるので、栗山産のジャガイモで作るくりやまコロッケなど、まちの特産品を堪能してほしい。

日時 / 9月24日～26日

会場 / 栗山中央1～3丁目、桜丘2丁目

問合せ / 栗山観光協会 ☎0123-72-1278



歴史と今が程よく混在した
個性的な魅力溢れる町

アイヌ語のヤム・ニウシ＝栗の木の繁茂しているところ」に起源し、昭和24年の町制施行に伴って改称。北は屈足山系、東は夕張山系に続く丘陵地帯が広がり、岩見沢市、夕張市と接しており、やや南北に細長く形成された町の北西部に中心市街地が造られている。また、溪谷や滝、公園など豊かな自然に恵まれており、四季折々に表情を変える木々や草花が、訪れる人々を楽しませてくれる。

さらに、観光客を惹き付けるのが、歴史を今に伝える老舗の名店や祭りなど。北海道最古の蔵元である小林酒造と「きびだんご」の谷田製菓が開催する「くりやま老舗まつり」は、毎年2万人以上の来客数を誇り、春のイベントとして広く道民に知られている。

また、スポーツにも力を入れており、北海道日本ハムファイターズ、栗山監督が造った「栗の樹ファーム」やスキー場、ゴルフ場など施設も充実している。芸術文化面でも、陶芸や木彫り、家具といったさまざまな芸術作家の工房が点在するなど、多彩な魅力が詰まった町だと言えるだろう。





ホテルパラダイスヒルズ 宿泊

閑静な場所に佇む温泉ホテル

国道234号線沿いにある、平成元年創業のホテル。宿泊はもちろん、日帰り入浴を楽しむゲストも多い。館内には、広々とした内風呂と開放的な露天風呂があり、ナトリウム・塩化物泉の「美肌の湯」としても評判を呼んでいる。また、季節ごとに企画されるお風呂も人気を集めており、頻りに訪れる地元客も多い。最大3名まで利用できる和洋室も30部屋あるので、ゆっくりと温泉を楽しんで欲しい。

〒0123-72-1123 栗山町字湯地91番地 ☎0123-72-1123

利用時間/日帰り入浴は7:00～22:00

料日帰り入浴/大人650円 小学生350円 幼児無料、宿泊/1泊2食付 11,000円～



シャトレゼゴルフ&スパリゾートホテル栗山 宿泊

ゴルフと温泉を楽しむリゾートホテル

3つのゴルフコースに温泉施設を併設したホテル。温泉は炭酸水素イオンを多量に含む美肌の湯で、つるつるしっとり。丘陵風景が一望できる広々とした客室のほか、家族で滞在できるコテージ、天然温泉付きの客室もあり、くつろぎながら存分にゴルフが楽しめる。

〒0123-72-6600 栗山町字森 ☎0123-72-6600

利用期間/4月上旬～11月中旬、10:00～22:00(日帰り入浴)



ふわふわ卵の「オムライス」648円(税込)。川瀬清史さん・恵子さん



●ひつじ八 食

バラエティ豊かな料理に目移りしそう

昭和6年創業の老舗菓子店「美津和」が営むレストラン。平成13年の開業当時から人気の「オムライス」をはじめ、パスタやヒレカツなどの洋食を中心に、セットメニューなど幅広いラインナップを誇る。食後は、オリジナルのフレーバー珈琲でひと息ついて。

〒0123-72-0237 栗山町中央2丁目182番地 ☎0123-72-0237

営業時間/11:00～16:00 15:30、17:30～21:00 10:20:30(ショップは通し営業)(11～2月は10のみ営業) 休月曜

●谷田の日本一きびだんご 特産品

変わらぬ製法で変わらぬ味を

大正12年に、関東大震災の復興を願って発売された「起備団合(きびだんご)」。厳選した餅米、砂糖、生飴、麦芽水飴を使って長方形に成形するなど、創業以来変わらない製法を守り続けている。パッケージには、桃太郎をデザインしており、姉妹品も多数あり。

〒0123-72-1234 栗山町製菓株式会社

〒0123-72-1234 栗山町錦3丁目

134番地

☎0123-72-1234



●さらさらレッド 特産品

体が喜ぶ、注目の栗山産玉ネギ

北海道大学と北海道農業研究センター、栗山町が連携して研究・誕生した玉ネギ。強い抗酸化作用を持つ「ケルセチン(ビタミンP)」を従来の玉ネギの1.5～3倍含むことから、動脈硬化予防やコレステロール値を下げる効果が期待されている。



園植物育種研究所

〒0123-72-5680 栗山町中央2丁目45番地

☎0123-72-5680



ネギがたっぷり のった「ネギみそ」 840円(税込)。

●龍覚 食

変わらない味が人気のラーメン店

たがみ製麺の直営店として、22年続く店。看板メニューの味噌を求めて、近郊から訪れるファンも多い。人気の「ネギみそ」は、大きなチャーシューと、たっぷり載った栗山産の長ネギが印象的。数日寝かせた太い縮れ麺とコクのあるスープが後を引く。

〒0123-72-5000 栗山町桜丘2丁目38番地 ☎0123-72-5000

営業時間/11:00～19:45 休月曜



「酒造りは蔵人とのチームワーク、強い心、そして丁寧な関係が大切」と語る杜氏の南修司さん

●小林酒造(株) 特産品

北海道最古の蔵元として親しまれる

明治11年創業の北海道最古の造り酒屋。明治33年に現在の場所に拠点を移し、早くから道産米を使用した酒造りに取り組んできた。また、創業者小林米三郎の生家の「小林家」は明治30年に建築された住宅。平成18年に登録有形文化財に指定され、平成26年から一般公開されている。ここ数年で道内でも良質な酒造好適米を生産できるようになったため、酒の質も格段にアップ。屋号を付けた「まる田」の純米酒は、濃醇な味わいで冷・燗ともに楽しめる。4月には栗山町を代表する老舗の谷田製菓とともに開催する「くりやま老舗まつり」も好評。酒蔵や工場の見学のほか、試飲や試食、即売会などが行われ、町内外から多くの人々が訪れる。

〒0123-72-1001 栗山町錦3丁目109番地 ☎0123-72-1001

CITY INFORMATION

栗山監督応援花壇

日本ハムの活躍を町民みんなで応援

国道234号線沿いに位置し、御大師山の裾野に広がる栗山公園。市民の憩いの場として親しまれているその園内には、栗山町に縁のある北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督のために設けられた花壇がある。この花壇は、チームが勝利するために、白星に見立てた白い花を1株ずつ植えていくというユニークなシステムを採用。また、「応援メッセージボード」には、栗山監督へのメッセージが寄せられ、町民や訪れるファンが一丸となって、選手の活躍やチームの勝利を応援することができる。

〒0123-72-0706 栗山町桜丘2丁目 ☎0123-72-0706

クリヤマエンシス

国蝶オオムラサキの北東限生息地

日本昆虫学会により「国蝶」に定められている貴重種で、美しい紫色の羽に配された黄色の斑点の一部が三日月型という特徴を持つ「オオムラサキ」。昭和60年にその生息が栗山町内の御大師山で確認されたことで、現在は栗山町が日本の北東限地域とされている。オオムラサキの発見により、平成元年には御大師山一帯が環境庁(現・環境省)の「ふるさといきもの里」に選定されたほか、国内唯一の亜種として平成8年には「クリヤマエンシス」という学名が命名。以来、栗山町のシンボルとして町民に親しまれている。





南幌町 **栗山町**
長沼町 **由仁町**

新潟・敦賀・舞鶴

小樽

札幌

千歳

苫小牧

旭川

足寄

帯広

新函館北斗駅

函館

八戸・大洗

仙台・名古屋

青森

大間

大阪

名古屋

東京

秋田・新潟・敦賀

ACCESS
交通アクセス情報



- 羽田空港(東京)から約1時間30分
- 中部国際空港(名古屋)から約1時間50分
- 関西国際空港(大阪)から約2時間15分



- 札幌から車で……………約40分から50分
- 新千歳空港から車で…………約30分から40分
- 苫小牧港から車で…………約60分から70分

RENTACARS

新千歳空港/レンタカー情報

| | |
|----------------------|---|
| ■トヨタレンタカー ポプラ店 | ☎0123-23-0100 8:00~23:00 <small>(7月・8月/7:00~23:00)</small> |
| ■トヨタレンタカー すずらん店 | ☎0123-24-0100 8:00~23:00 <small>(7月・8月/7:00~23:00)</small> |
| ■日産レンタカー | ☎0123-27-4123 8:00~21:00 |
| ■ホンダレンタカー | ☎0123-40-5353 8:00~20:00 |
| ■ワールドネットレンタカー | ☎0123-40-8887 8:00~20:00 |
| ■Jネットレンタカー SKY新千歳空港店 | ☎0120-49-3711 8:00~20:00 |
| ■JR駅レンタカー | ☎0123-22-8321 8:00~20:00 |
| ■OTSレンタカー | ☎0123-27-7000 8:00~20:00 |
| ■タイムズカーレンタル | ☎0123-45-8756 7:30~22:00 |
| ■オリックスレンタカー | ☎0123-22-0543 8:00~20:00 |
| ■ニッポンレンタカー | ☎0123-26-0919 7:00~23:00 |
| ■北海道ブレンタカー | ☎0120-125-651 8:00~18:00 |
| ■バジェットレンタカー | ☎0123-49-2277 8:00~20:00 |

※営業時間は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

INFORMATION CALL

南そらち4町に関するお問い合わせは

| | |
|--------------------|--------------------|
| ■南幌町産業振興課商工観光グループ | ☎011-378-2121 (代表) |
| ■長沼町産業振興課商工観光係 | ☎0123-88-2111 (代表) |
| ■由仁町産業振興課由仁のもの事業担当 | ☎0123-83-2114 (直通) |
| ■栗山町ブランド推進課 | ☎0123-73-7516 (直通) |